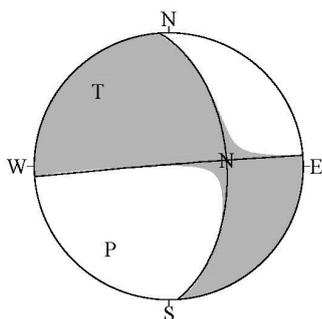


3月28日 ミャンマーの地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

W-phase による解

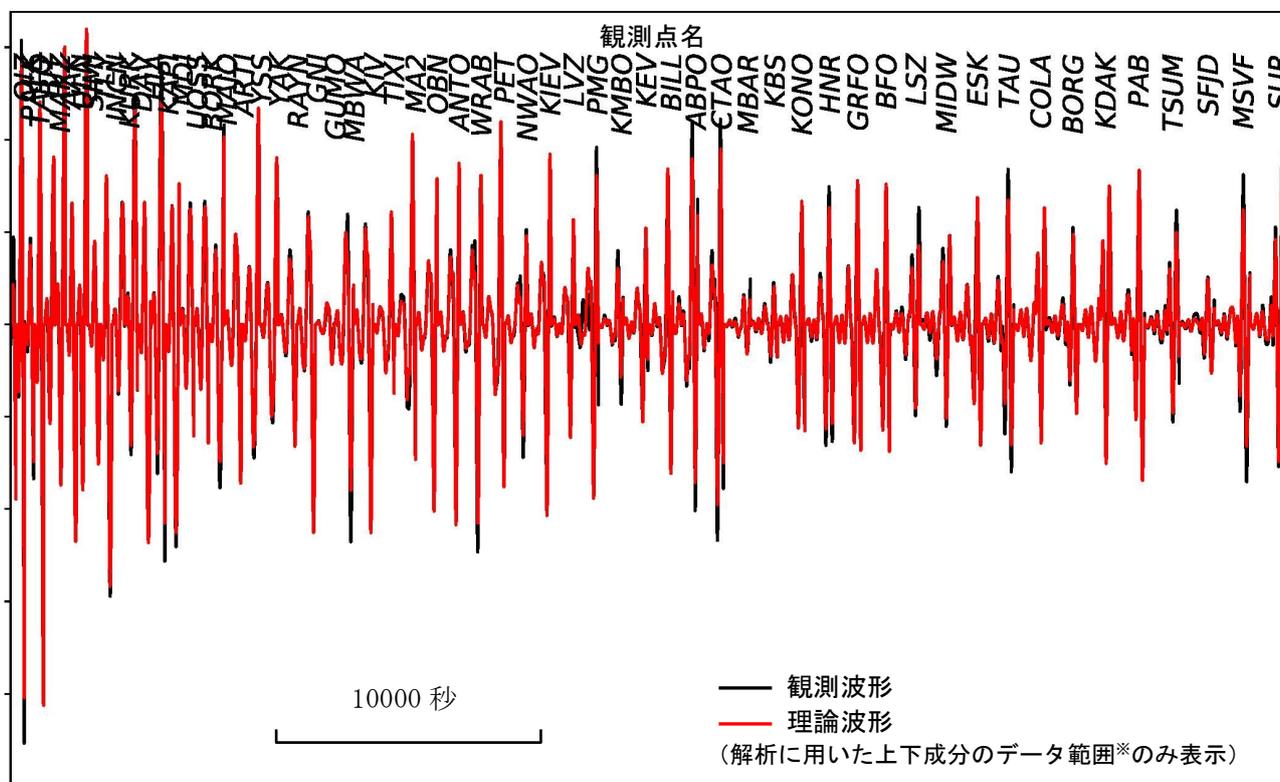


2025年3月28日15時20分(日本時間)にミャンマーで発生した地震についてW-phaseを用いた発震機構解析を行った。発震機構、 M_w とも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、 M_w は7.8であった。なお、W-phaseの解析で求めた震源は北緯 21.0° 、東経 96.1° 、深さ24kmとなった。

W-phaseの解析では、震央距離 $10^\circ \sim 90^\circ$ までの59観測点の上下成分、61観測点の水平成分を用い、200~600秒のフィルターを使用した。

注) W-phaseとはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。

| M_w | M_0 | 断層面解1 (走向/傾斜/すべり角) | 断層面解2 (走向/傾斜/すべり角) |
|-------|---------------------------------|---|--|
| 7.8 | $6.62 \times 10^{20} \text{Nm}$ | $356.1^\circ / 54.3^\circ / -178.8^\circ$ | $265.4^\circ / 89.1^\circ / -35.7^\circ$ |



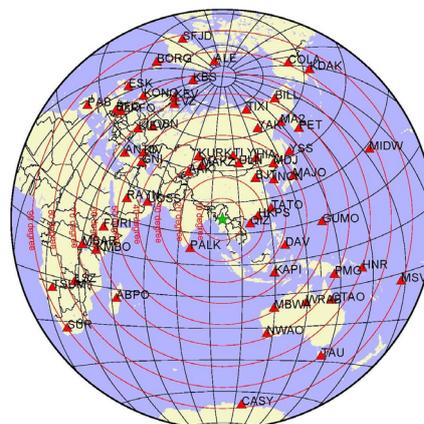
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phaseに関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., 175, 222-238.

解析データには、EarthScope Consortiumより取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及びRivera博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成